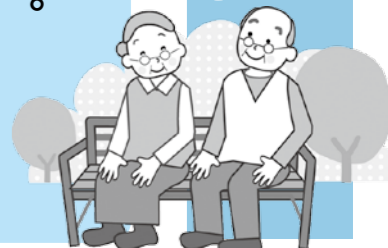


うみ高齢者計画の見直しを行いました。

【問い合わせ】

健康福祉課

TEL 034-2243



施策を展開するために、基本方針を大きく3つに分けました。

1. 心身の健康をつくる・支える

障害の予防など、健康の保持・増進を図っていきます。

①生活習慣病予防を強化する

・特定健診受診率の向上
高血圧、糖尿病、脂質異常等の生活習慣病を予防するために特定健診受診率の向上に努めます。

・健康相談、訪問指導の充実

検査データを有効に活用し、生活習慣病の予防および重症化を防止するための健康相談、訪問指導を行います。

くすの杜や地区公民館での健康相談を実施することにより、高齢者の健康相談について解決策を相談者の生活の視点で考えていきます。

・運動を中心とした健康づくりの充実

うみハビネスのトレーニングルームを有効活用して、生活習慣病の予防や筋力低下による



②介護予防を強化する

介護状態になるおそれがある二次予防事業対象者を検診、訪問、アンケート等により把握して、「運動」、「栄養」、「口腔」といったメニューの介護予防教室につなげます。

また、一般高



いきいきサロンの様子

3. 地域の安心感を育む

①生活の質を高める福祉サービスを提供する

自立した生活ができるようまた、介護者の負担を軽減するために「緊急通報システム」「福祉タクシー助成事業」「高齢者等住宅改造費助成事業」「紙おむつ給付事業」「寝たきり高齢者等住宅介護手当支給事業」「はり・きゆう費助成事業」を広報やケアマネージャー、民生・児童委員等を通じて周知します。

70歳以上の節目年齢高齢者に敬意を表すため、行政区の協力により「敬老祝金」の支給を行います。

③安全・快適な地域をつくる

・高齢者が事故の被害者や当事者にならないよう、交通安全の意識高揚に努めます。

・見守り、声掛け活動を行い、災害に対する基礎的知識等の理解を高めるよう努めます。

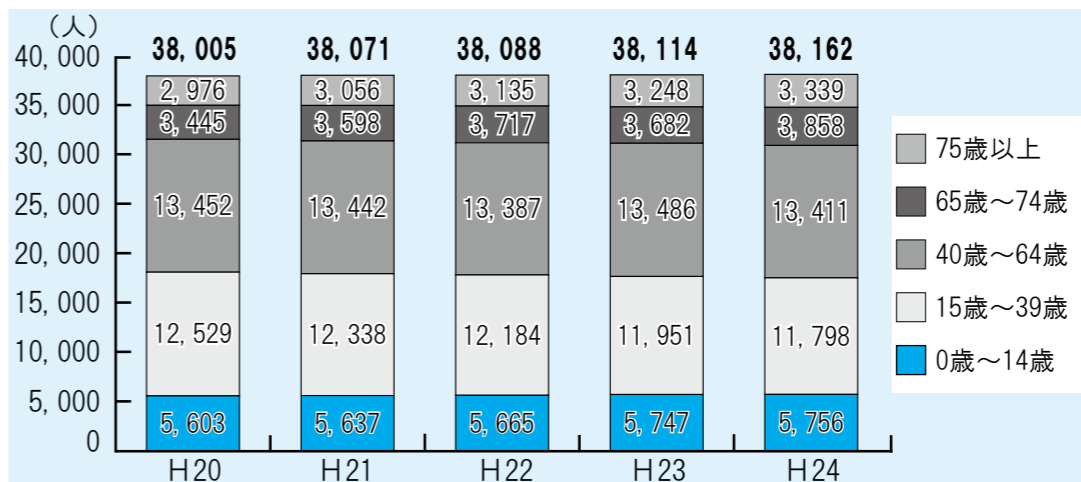
・悪徳商法等の被害を受けたり、受ける恐れのある高齢者が、気軽に周囲に相談して早期解決が図れるよう、全町民に情報提供や意識高揚に努めます。

各施策等の詳しい内容は、計画書を作成している健康福祉課介護高齢者支援係までお問い合わせください。



◆人口の推移

【資料】住民基本台帳及び外国人登録原票(各年4月1日)



◆高齢化率の予測

	H22(実数)	H27	H32
宇美町	18.1	22.7	27.6
福岡県	22.3	26.1	28.8
全国	23.0	26.9	29.2

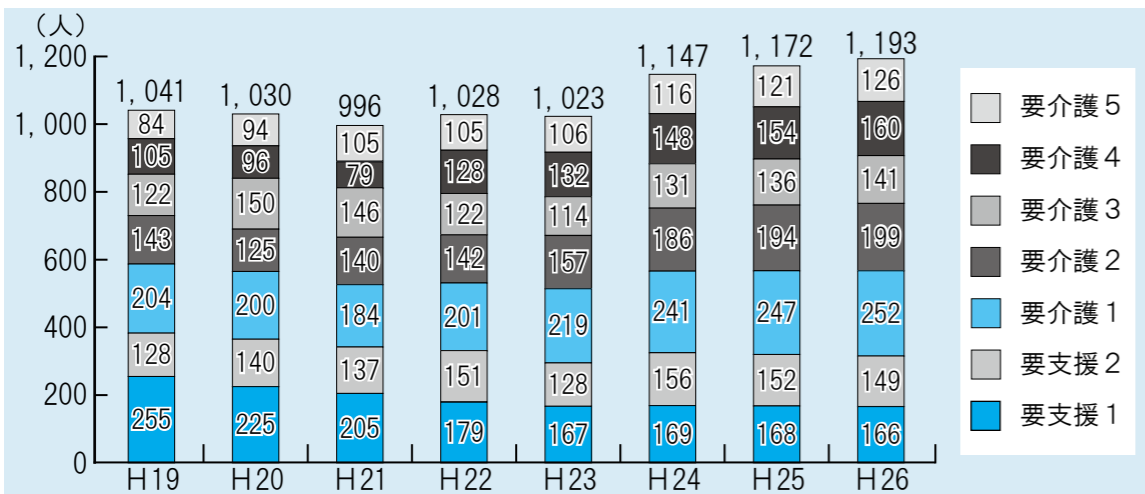
全国的に高齢化は急速に進行しています。本町の高齢化率は県や全国平均を下回っている状況ですが、今後、急速に高齢化が進むと考えられます。増加する高齢者の皆様が健康で心豊かな生活を続けることができるよう、介護予防や生きがいづくりなど、高齢者の誰もが住み慣れた地域で安心して生活できるように、元気高齢者づくりの推進および充実を図っているところです。

今回、これらの状況を踏まえ、平成22年3月に策定した「高齢者保健福祉計画」を見直し、平成24年度から3年間の保健福祉分野関連施策を策定いたしました。

資料: 県および全国のデータは、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成20年12月推計) 町のデータは、独自算出(第5次マスタープラン)

◆要支援・要介護認定者数の推移と推計

【資料】H19～H23は、各年4月末日 H24からの推計は第5期介護保険広域連合事業計画



2. 生きがいづくりを支援する

①学び続けることができる環境を整備する

仲間づくりを通して、生きがいを見つける「いきいき講座」や技術を持つ町民の方を派遣する「宇美町学習支援者派遣事業」の充実を図ります。また、「宇美町職員出前講座」では、利用促進を図るため広報誌等で周知してまいります。

うみ・みらい館を核として、生涯学習講座、イベント等の情報を一元化し、正確でわかりやすい情報を提供していきます。



②地域活動を支援する

公共施設の管理や、公園の清掃作業等により健康・生きがいづくりとともに、収入を得ることができ「高齢者就労支援事業」の仕事量の確保に努め、シルバー人材センターの設立について検討します。農産物等の特産品開発を目的とした「さんさん21」を進めていきます。

・ひとり暮らし高齢者の見守り活動については、訪問や、「配食サービス」「いきいきサロン」などを活用して安否確認、健康管理を支援します。

・高齢者の増加に伴う様々な問題には、介護予防の拠点である地域包括支援センター、在宅介護支援センター、「心配」と相談事業「弁護士相談」での相談業務を行っていきます。

